



令和4年10月発行 第245号



みどりのアスパラガス

北広島市しょうがい児者を持つ親の会
発行責任者 加藤裕子

<http://oyanokai.sunnyday.jp/>



第67回北海道手をつなぐ育成会全道大会帯広大会参加報告

令和4年8月7日に開催された全道大会にオンラインで参加させていただきました。事務局長又村氏からの中央情勢報告は、法制度の動きとこれからについて、旬の情報が得られ、毎年大変勉強になります。今年も障害福祉サービスの動向、成年後見制度の見直し議論、情報コミュニケーション法等について伺うことが出来ました。

シンポジウムでは、「今後の育成会活動について」をテーマに、全国育成会連合会のうごきについて、報告がありました。その中で印象に残ったことは「育成会活動の基盤は何より都道府県、市区町村、事業単位の育成会（親の会）である」「全育連の制作センターで刊行した【地域資源開発指導推進ハンドブック】を活用した研修会を、要請に基づき各地で開催する。」「ハンドブックを活用した研修会を企画して、市長さん行政や相談支援事業所などと協働した地域資源の開発を進める」ことでした。

久保会長が登壇された、大会記念講演「育成会のこれまでとこれから」では、改めて育成会のこれまでのこと、現状、そしてこれからのことについて、大変感慨深いお話を伺いました。育成会活動のこれからを考える際、課題が多々あり悶々とした状態であった頭の中を整理していただいた講演でした。久保会長のお話の中でも「地域の育成会活動に地域資源開発指導推進ハンドブックの活用についても提言されていました。是非、私たちの地域でも「地域を把握・検証することから始められたら…」と思いました。

齊藤

一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会・一般社団法人北海道手をつなぐ育成会 共催
「知的障がい者の投票における合理的配慮を考える」
～全ての人の参政権の保障とバリアフリー投票をめざして～

【日時】 令和4年11月16日（水）10時～12時

*会場&ZOOMのハイブリッド開催

【会場】 道民活動センター「かでの 2.7」1060 会議室

*定員：50名 参加費：無料

【申込方法】 FAX または QR コードの申込フォーム

★詳細は

北海道手をつなぐ育成会HP
(hokkaido-ikuseikai.com)

★ホームページ確認できない方は、役員までお問い合わせください。



福岡市の NPO 法人「さるく」の理事長、他 1 名が、「療育」と称して障害のある中学生への監禁・暴行などを行っていたとして逮捕された事件がありました。「さるく」は強度行動障害のある人の問題を解決すると証し、積極的に行き入れをしていた法人でした。その事件を受け、日本自閉症協会から声明が発表されています。以下に掲載いたします。

2022 年 7 月 28 日

行動障害支援を行っていた「くるめさるく」の事件について

一般社団法人日本自閉症協会
会長 市川 宏伸

「療育」と称して障害のある中学生に監禁・暴行等をしたとして、福岡市 NPO 法人「さるく」の理事長および他 1 名が福岡県警によって逮捕されました。

報道によると、本事件は長崎県時津町の自宅で寝ていた当時中学生の男性（14）の手足を縛るなどして身体を拘束し「暴れたら殴るぞ」などと脅迫して、頭部に袋のようなものをかぶせて複数回殴り、「くるめさるく」等に車で連行して同日午後 7 時半ごろまで監禁したとされています。またその間、過去の暴言などを認めさせる文書の作成を、同生徒を脅して強要したとされています。なお、「くるめさるく」は県内外から重度の知的障害や自閉スペクトラム症がある人を積極的に受け入れ、激しい自傷・他害や物を壊すなど「強度行動障害」のある人の生活改善を実現すると PR していたとのことでした。

この強度行動障害のある子どもへの短期集中的な介入により「強度行動障害の問題が解決する」という容疑者が称する「訪問セラピー」は、親御さんとの私的な契約で行われていたもので、通常の福祉サービスとは異なる点に本事件の特徴があると思われます。

日本自閉症協会（以下当協会）に寄せられるお問い合わせ・ご相談からも、強度行動障害を持つ子どもを受け入れる施設や医療機関は全国的にも非常に少なく、藁にもすがる思いで受け入れ

先を探している親御さんは少なくありません。本件は、強度行動障害を持つ人に対する残虐極まりない虐待であると同時に、子どもの強度行動障害に悩む親御さんの弱みに付け込んだ卑劣極まりない犯罪です。

強度行動障害の背景に自閉スペクトラム症などの発達障害がある事例が多いことはよく知られています。強度行動障害児の療育や支援は研究されており、問題の行動には何らかの原因や本人なりの理由があり、関わり方や環境、医療で確実に軽減します。一方、当協会の経験では、「短期で強度行動障害が治る」「どんなに難しい行動障害を持つお子さんでも預ければうまくいく」等の謳い文句を掲げる事業者は問題が多いと認識しています。

お悩みの方、また、少しでも対応がおかしいと感じた際は、ぜひ地元の児童相談所、発達障害者支援センターや基幹相談支援センター（福祉）にご相談ください。

当協会は、強度行動障害のある子どもや親御さんが抱えている困りごとの根本には、適切な支援を提供できる福祉・医療・教育機関等の社会的資源や福祉の人材などが不足していると考え、早急に対応すべき課題として認識し、厚労省を含め関係箇所とも連携をしながら、強度行動障害への支援体制の早急な構築に向けて、取り組んで参ります。

また、引き続きすべての自閉スペクトラム症の人が虐待を受けずに、安全に地域で暮らしていけるよう全力で取り組む所存です。

（日本自閉症協会ホームページより）

<http://www.autism.or.jp/>

★なお、全国手をつなぐ育成会連合会からも「福岡県久留米市等で発生した障害者虐待事案に対する声明」が発表されています。ホームページをご覧ください。

<http://zen-iku.jp/>

いんくる一む「いろいろなスポーツ体験会」に参加して

9/25(日)、中央公民館で行われた「いんくる一む (インクルーシブ×ルーム)」。いろいろなスポーツ体験会に息子と参加してきました。講師は一般社団法人 わくわくピース総合型クラブさんで、8/7(日)に続き2回目の開催だそうです。

内容は、ボッチャやモルック、フロアカーリング、トリコロキューブ等、初めて聞くものでした。最初はゴールボールというもので、3人対3人の2チームに分かれ、視覚を遮るゴーグルを装着し、動かすと音が鳴るボールを相手チームに転がし、相手チームは音を頼りにボールを止めます。止められないと相手の得点になるというゲームです。

特別講師は2008年北京パラリンピックに出場された高田朋枝さんでした。高田さんは光は感じられるもののほとんど目が見えないとの事でしたが、姿勢が素晴らしく、ゲーム中の守備や攻撃はとても俊敏でした。守備の時は体を横に寝そべて全身を使うので、中高年に入る私には少し厳しく、立ったままで参加しましたが、音だけ頼りにボールを捉えるのは訓練しないと難しいと思いました。ゴールボールは10/15(土)北広島総合体育館で行われるみんなのスポーツフェスタでも体験できるそうです。

息子と私はその他、トリコロキューブ、フロアカーリングを楽しみました。参加者は約20名程でしたが、小学校低学年～80代の方までいたようでした。チーム戦なので、知らない方と一緒にいるのですが、ゲームを通して夢中になり、それぞれ無理なく参加出来ました。

教育委員会に久しぶりに戻られた女性職員さんと、キャンプやスキー教室でお世話になった事を思い出して、再会できたことが嬉しかったです。

この後も、10/2、11/27、12/25、1/8、2/12 全て(日)と続くそうなので、予定が合えば又、参加したいと思います。

仲上

余暇支援活動に参加して

10月1日(土)余暇支援活動の『ウポポイ』バスツアーに親子3人で参加させていただきました。コロナ禍ですので親子での外出は本当に久しぶりでバスに乗ってというのはますますウキウキしました。

ウポポイはテレビなどでも取り上げられていて、漫画 ゴールオンカムイの影響で人気らしい(読んで無いけど)ポロト湖の景色もいいし楽しみです。

当日は天気にも恵まれ博物館とアイヌ舞踊を見学し、自由に散策、昼食も自由で舞踊が終了するとちょうど12時だったのでレストランに行きましたが混んできると思い看板を見てパッと入ってしまい、やばいぞ、お高い白老牛のレストランだった…ということもありましたが美味しかったしこれも思い出として堪能しました。

見学の時間も持て余す事もなく快適に過ごせました。至る所ライトアップの機材があるので検索するとものすごく綺麗な画像が出てきたのでこっそりまた行きたいと思いました。

企画をして下さった係の皆さん、急遽不参加せざるを得なかったのにお見送りに来てくださった福祉課の奥山さん角田さん。本当にありがとうございました。とても楽しい1日になりました。

 國岡 

🚌 2022 余暇支援活動 報告 🚌

10月1日土曜日 天気は晴天。4月から企画していましたウポポイ見学に参加者は、8家族20名でした。福祉バスにて夢プラザと公民館に集合し、市役所福祉課の[]の見送りを受けて、予定通りに出発しました。

ウポポイでは入場手続きもスムーズに入館することができ、館内は広く様々な展示室を各自で見学しアイヌ文化を知ることができてよかったですと思います。

帰りも予定の工程で、北広島市到着後に解散となり、無事に行事をおえることができました。参加していただいた方々には、新型コロナウイルス対策で、手の消毒、検温と協力をして頂き、ありがとうございました。

余暇支援活動担当 浮田

🗨️ 座談会「聞いてみよう」～グループホーム編 報告 🗨️

6月の定例会での座談会～施設入所編に続きまして、8月の定例会ではグループホーム利用の保護者さん3人にお話を伺いました。

- ・グループホームに入るまでの準備や入れた経緯、その時のお子さんの受け止め方の様子
- ・入居するにあたって必要な身の回り品や、家賃や生活費、お小遣い等の必要経費について
- ・入居での基本的な生活リズム、帰宅時、自宅でのお子さんの様子
- ・衣類の調整や理髪や爪切り等の衛生管理は？病院の付き添いは？外出や余暇活動の状況
- ・テレビやスマホ等の通信機器の持ち込みは？

など沢山の質問に答えて頂き、詳しくお話を聞く事が出来ました。

今回、グループホームによって、在中の職員の配置やそれぞれの特色がある事が分かりました。また、コロナ過でのそれぞれの施設の対応状況も伺え、これからグループホームの利用を考えるのに、大変参考になりました。

仲上

活動報告		
8月4日	定例会 青空会	
8月7日	北海道手をつなぐ育成会全道大会 帯広大会 リモート参加	中川 斉藤
9月8日	役員会	
10月1日	余暇支援「ウポポイでアイヌ文化を学ぼう！！」(8家族)	20名

この会報は、会の趣旨に賛同下さる方々に、私たちの活動を広く紹介する目的で発行しています。ほかの目的に使用しないよう、また、破棄する場合は取り扱いにご注意下さるようお願いいたします。

🌻 会報担当 🌻

中川 斉藤 佐藤 井上

